

授業科目等の概要

(医歯薬専門課程 社会福祉士・医療ソーシャルワーカー学科) 令和7年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	実務教員による授業
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			医学概論	福祉専門職に必要とされる基礎的な医療・医学的知識を習得する。特に支援対象者に関わる健康上の課題や、疾病およびその予防と対策、感染症対策等を学ぶ。	1前	30	2	○			○			○		○
○			社会学と社会システム	社会学の考え方やその対象、社会問題の捉え方について学び、社会福祉専門職が関わる現代社会における社会問題の構造・対処法を幅広く考察する。	1前	30	2	○			○			○		
○			社会福祉調査の基礎	社会調査の基礎と原理と、社会福祉実践に求められる社会調査の方法・手法とデータ分析法を具体的に学ぶ。	1前	30	2	○			○			○		
○			ソーシャルワークの基盤と専門職	社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ、ソーシャルワークの概念や基盤となる考え方、形成過程や倫理について理解する。	1前	30	2		○		○		○			○
○			ソーシャルワークの理論と方法	人と環境との交互作用に関する理論とマイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークと、様々な実践モデルとアプローチについて理解する。	1前	60	4		○		○		○			○
○			地域福祉と包括的支援体制	地域福祉の基本的な考え方、包括的支援体制の考え方、多職種及び多機関協働の意義と実際、福祉行財政の実施体制と果たす役割、福祉計画の意義・目的及び展開を理解する。	1前	60	4	○			○		○			○
○			高齢者福祉	高齢者福祉の歴史と高齢者観の変遷、制度の展開過程を理解したうえで、高齢者とその家族に対する社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。	1前	30	2	○			○			○		○
○			ソーシャルワーク演習	ソーシャルワークの価値規範と倫理を実践的に理解するとともに、ソーシャルワーク実践に必要なコミュニケーション能力、ソーシャルワークの展開過程において用いられる知識と技術を実践的に理解する。	1前	30	2		○		○		○			○
○			心理学と心理的支援	人の心の基本的な仕組みと成長機能、発達段階に特有の心理的課題を理解し、日常生活と心の健康の関係、環境との間に生じる心理的反応、心理学理論を基礎としたアセスメントの方法を理解する。	1後	30	2	○			○			○		○
○			社会福祉の原理と政策	社会福祉の原理と歴史、思想、哲学、理論の学びをふまえ、現代における社会問題とその構造的背景を理解する。福祉政策の動向と課題と国際比較、関連施策、サービスの供給と利用過程を理解する。	1後	60	4	○			○		○			○

○		ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	ソーシャルワーク専門職に係る概念と範囲を理解するとともに、ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークや総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容を理解する。	1 後	30	2		○		○		○				○
○		障害者福祉	障害者福祉の歴史と障害観の変遷、制度の発展過程を踏まえ、障害者に対する支援とその仕組み、これを取り巻く社会環境について理解する。	1 後	30	2	○			○		○				○
○		ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ	ソーシャルワークの価値規範を理解し、倫理的な判断能力を養う。支援を必要とする人を中心とした分野横断的な包括的支援の実践と、地域特性や課題を把握し解決するためのアセスメントや評価等の仕組みを実践的に理解する。	1 後	75	5		○		○		○				○
○		ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	社会福祉現場の現状と課題を把握し支援を展開するため知識と技術、実習記録の作成方法、巡回指導の意義、その他実習全般に係る基本事項を理解する。	1 後	45	3		○		○		○				○
○		ソーシャルワーク実習Ⅰ	講義・演習で学んだ知識・技術を実践し、ソーシャルワークスキルを体験的に習得するとともに、支援者に不可欠な自己覚知と他社理解について、利用者・患者等との関わりのなかで省察を深める。	1 後	60	1			○		○	○				○
○		キャリアコンサルタント講座	キャリアコンサルタント国家資格の取得に向け、その理論とキャリアコンサルティングの実践方法を学ぶ。	1 後	155	10		○			○		○			
○		プロ養成講座	社会福祉士、キャリアコンサルタントの基本姿勢となる自己理解・他者理解を演習形式で学ぶ。	1 後	15	1		○		○				○		
○		診療報酬請求	医療ソーシャルワーカーにも業務上必要とされる診療録に基づいた診療内容の算定方法を学ぶ。	1 後	15	1		○		○				○		
○		児童・家庭福祉	児童・家庭福祉の定義、児童をめぐる権利、歴史、法制度を理解したうえで、児童・家庭に対する支援における関係機関と専門職の役割、支援の実際を理解する。	2 前	30	2	○			○				○		○
○		福祉サービスの組織と経営	福祉サービスにおける組織と経営の管理運営、関連法規について学ぶ。また福祉サービスの向上、人事労務管理等の課題とその対処法を学ぶ。	2 前	30	2	○			○				○		
○		社会保障	少子高齢化と社会保障の関係をはじめとする現代社会における社会保障制度の課題等について理解する。	2 前	60	4	○			○				○		
○		ソーシャルワークの理論と方法（社会専門）	ソーシャルワークの価値規範を理解し、倫理的な判断能力を養う。支援を必要とする人、地域を中心とした分野横断的な包括的な支援について、事例等を通して実践的に学ぶ。	2 前	60	4		○		○		○				○
○		ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ	ソーシャルワークの価値規範を理解し、倫理的な判断能力を養う。支援を必要とする人を中心とした分野横断的な包括的支援の実践と、地域特性や課題を把握し解決するためのアセスメントや評価等の仕組みを実践的に理解する。	2 前	45	3		○		○		○				○

○		ソーシャル ワーク 実習指導Ⅱ	社会福祉現場の現状と課題を把握し支援を展開 するため知識と技術、実習記録の作成方法、巡 回指導の意義、その他実習全般に係る基本事項 を理解する。	2 後	45	3		○		○		○				○
○		ソーシャル ワーク実習Ⅱ	講義・演習で学んだ知識・技術を実践し、ソーシャ ルワークスキルを体験的に習得するとともに、支 援者に不可欠な自己覚知と他社理解について、 利用者・患者等との関わりのなかで省察を深め る。	2 後	180	4		○		○		○				○
○		貧困に対する 支援	貧困の歴史と公的扶助の概念をふまえ、貧困状 態にある人とこれを取り巻く社会環境に対する支 援および貧困の予防について理解する。	2 後	30	2	○			○				○		
○		保健医療と福 祉	医療保険制度の概要と保健医療サービスにおけ る各専門職の役割、連携について学ぶとともに ソーシャルワーク専門職の職務職責について理 解を深める。	2 後	30	2	○			○				○		
○		権利擁護を支 える法制度	法の基礎とソーシャルワークの関わりを理解し、 権利擁護の意義とそれを支える仕組み、権利擁 護に係る組織・団体・専門職、活動において直面 しうる法的諸問題、成年後見人制度の概要を理 解する。	2 後	30	2	○			○				○		
○		刑事司法と福 祉	刑事司法の近年の動向と仕組みおよび社会福祉 士、精神保健福祉士の役割や関係機関の役割に ついて理解する。	2 後	30	2	○			○				○		
○		医療ソーシャ ルワーカー演 習	医療現場および福祉現場での医療に係わる相談 事例などを検討・検証し、卒業後のための実践力 を養う。	2 前	30	2		○		○				○		○
○		社会福祉士養 成講座	学習上の課題に沿って自主的、能動的な学習方 法を身につけ、社会福祉士国家試験合格のため の知識を習得する。	2 後	240	16	○			○			○			○
合計			31 科目		1655	単位時間 (99 単位)										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
学年毎に必修単位数を修得したものは進級となる。卒業時まで全科目を履修 し（1655時間、99単位）、学校長が適当と認めた者は卒業となる。		1 学年の学期区分	2期
		1 学期の授業期間	16週